



本プロジェクトは産・学・官の技術の橋渡しの拠点、次世代創薬・再生医療の実現化を目指す拠点づくりである。建物は主に、医学部の研究・教育を展開する「医学部ゾーン」、学内外の研究者が入居するオープンラボや共同利用機器室・動物実験施設といったサポート機能を備える「産学官連携ゾーン」の2つの用途から成り立っている。本計画では、「繋ぐ」ことをテーマに、

- ・研究と交流（研究者、教育関係者、学生の結びつき）
- ・計画施設とキャンパス周辺環境
- ・計画施設と自然環境

の相互関係を深め、新たな価値を見出すような施設づくりを目指した。

所在地 大阪府吹田市山田丘
建築面積 2,371㎡
延床面積 18,405㎡
構造規模 S+SRC. B1-9F
竣工年月 2014年2月



大阪大学大学院医学系研究科附属 最先端医療イノベーションセンター

Center of Medical Innovation and Translational Research

